

遠野とチャタヌーガの交流が次のステージへ！

昨年9月、本市は米国チャタヌーガ市と姉妹都市になりました。今年は、両市の絆をさらに強くするため、さまざまな交流事業が行われます。

市職員をチャタヌーガ市に派遣

市は、本年5月から来年4月までの1年間、市職員をチャタヌーガ市役所へ派遣します。派遣する職員は、これまで遠野市教育文化振興財団(以下、財団)で国際交流事業などに携わってきた伊香学さん(35歳)。主な任務は、▷中高生海外派遣交流事業のコーディネート▷行政に関する研修▷遠野市のPRなどで、昨年の11月まで、本市で国際化推進支援員を務めたアレックス・ヒューイさんのように、遠野とチャタヌーガの橋渡し役を務めます。現地での様子は、広報遠野や遠野テレビ、財団のフェイスブックで紹介いたしますので楽しみに。



チャタヌーガ派遣職員 伊香学さん

6月にチャタヌーガの高校生が来遠！

本年6月21日から7月8日までの18日間、チャタヌーガ市のCSAS校の高校生らが10年ぶりに来遠します。本市を訪れるのは、生徒7人と引率教諭2人の計9人。市内でホームステイをしながら、学校訪問や交流イベントなどに参加し、日本や遠野について理解を深めます。滞在期間中は、財団が派遣生をサポート。



6月に来遠するCSAS校のみなさん

現在、ホストファミリーを募集しています。詳細は、財団のフェイスブックをご覧ください。

財団のフェイスブック

FB 遠野市教育文化振興財団



★お知らせ

次回から新コーナー「伊香学チャタヌーガNOW!(仮題)」をスタート。現地での交流の様子をお届けします。

4月18日 ホップを利用した「緑のカーテン運動」

名産「ホップ」で省エネも！

東北電力(株)遠野営業所は、夏の電力消費の抑制を目的に遠野の名産「ホップ」を使った緑のカーテン運動を行っています。同運動は、キリンビール(株)や市内関係者の協力を受け開催。遠野緑峰高校生や市内飲食店従業員など28人が参加し作業を行いました。カーテンは市内の企業や駅前など約20カ所に設置予定です。



ホップのカーテンで夏を涼しく色鮮やかに

4月21日 JR釜石線SL 銀河運転再開

SL 銀河を市民がお出迎え

JR東日本によるSL 銀河の定期運行が釜石線の花巻-釜石間で再開され、SLが停車する宮守駅と遠野駅で市民によるお出迎えが行われました。SL 銀河の乗客でにぎわう駅周辺では、郷土芸能が披露されたほか、馬との記念撮影が行われるなど遠野ならではのおもてなしを展開。県内外の乗客を歓迎しました。



絳織しし踊りがSLの乗客を歓迎

4月22日 第6回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

ごみを拾って一句を詠む

ごみを拾って、浮かんだ思いを川柳に詠む同大会は、花巻市の東和B&G海洋センターで開催され、花巻・遠野両市民120人が参加。2時間で1つのごみを回収しました。



湖面のごみを熊手で回収する参加者

ごみを拾った後は、それぞれの思いを川柳で表現。参加者たちは清掃活動や川柳大会を通じて、河川環境の保護に理解を深めました。

3月31日 附馬牛保育園・児童館落成式

新たな子育て拠点の完成を祝う！

附馬牛保育園・児童館の完成を祝う落成式が現地で行われ、関係者ら100人が出席。テープカットや附馬牛保育園の子どもたちの和太鼓が披露され、子育て拠点の完成を祝いました。

式では、業者を代表して松田建設(株)の松田孝代表取締役から本田市長に鍵の引き渡しが行われたほか、(株)カクタ設計の角田直樹代表取締役から馬場克尚遠野市保育協会理事長へ記念

品を贈呈。和太鼓を披露した園児たちは「素敵な保育園をつくってくれてありがとう。これから保育園で遊ぶのが楽しみです」と声を弾ませました。式典後、祝賀会が地元実行委員会主催で開催され、関係者が喜びを分かち合いました。

- 1_代表児童と関係者らによるテープカット
- 2_ピカピカのホールに子どもたちの和太鼓の音が響きわたりました
- 3_子どもたちが新しい保育園を探検



4月12日 16人目の緑のふるさと協力隊員着任

伝統と知恵を学びたい

NPO法人地球緑化センターが派遣する「緑のふるさと協力隊員」として着任した岡田佳奈さん(25)はとびあ庁舎を訪れ、本田市長に着任のあいさつをしました。岡田さんは「地域の方々と交流を通じ、伝統や知恵を学びたい」と抱負を語りました。今後は、宮守町を拠点にさまざまな地域活動に取り組みます。



本田市長に意気込みを語る岡田さん

4月6日 春の「全国交通安全運動」地域安全運動出発式

安心安全への決意を新たに

出発式はあえりあ遠野で行われ、市交通安全対策協議会や市防犯協会連合会の関係者ら86人が出席し、決意を新たにしました。出発式では本田市長らから新1年生代表の水内武蔵君と大萱生卓希さん(いずれも遠野小)に、交通安全・防犯グッズを贈呈。2人は「交通事故に気を付けます」と元気に誓いました。



新1年生代表が元気に誓いました

総務大臣賞ダブル受賞 歴史と伝統を次世代へ

遠野北小少年消防クラブと佐々木さんは、全国の中で優良な個人・団体に贈られる総務大臣賞を受賞しました。本市の団体が同賞を受賞するのは遠野北小少年消防クラブが初めてです。遠野北小児童会長の菊池優空くん(6年)は「すごい

賞をもらえてうれしい。この伝統を大切に引き継いでいきたい」と目を輝かせました。指導者として受賞した佐々木さんは「遠野北小の伝統あるクラブ活動が評価されて嬉しい。この賞はみんなの賞」と受賞を喜びました。

優良な少年消防クラブ指導者表彰

佐々木 一人さん
前遠野市少年消防クラブ会長
(前遠野北小学校長)



特に優良な少年消防クラブ表彰

遠野北小児童会長 菊池 優空くん⑤
遠野北小児童副会長 山屋 翔くん⑥

